

2017 Winter

新宿パークタワー クリスマスコンサート

2017年12月18日(月)・観覧無料

1回目/12:00~13:00 2回目/18:00~19:00

会場:新宿パークタワー 1F アトリウム

新宿パークタワーが贈るクリスマスコンサート。

噴水広場を望む高い天井をもつ空間のもと、

チェコが生んだ作曲家ドヴォルジャークのオーケストラ作品をお楽しみください。

Dvořák

ドヴォルジャーク:《スラヴ舞曲集》Op.72 第2番 ホ短調

Antonín Dvořák: Slavonic Dances, Op.72 No.2 in e minor

ドヴォルジャーク:交響曲第9番 ホ短調 Op.95 《新世界より》

Antonín Dvořák: Symphony No.9 in e minor, Op.95 "From the New World"

<指揮>

澤橋 淳

Conductor: Jun Sawahashi

<コンサートマスター>

七澤 清貴

Concertmaster: Kiyotaka Nanasawa

セブン・ブリッジ・オーケストラ

Seven Bridges Orchestra

<主催>

東京ガス都市開発株式会社

SHINJUKU PARK TOWER & TOKYO

新宿パークタワー クリスマスコンサート

開催日時：2017年12月18日(月)

1回目／12:00～13:00 2回目／18:00～19:00

□ 会場：アトリウム(1階)・観覧無料 □ 主催：東京ガス都市開発株式会社

【曲目解説】

ドヴォルジャーク：《スラヴ舞曲集》Op.72 第2番 ホ短調

チェコのボヘミア地方で生まれたアントニン・ドヴォルジャーク(1841-1904)、チェコ国民楽派を代表する作曲家です。1877年(36歳)、既に作曲家の大家であったブラームスはドヴォルジャークの才能を認め、自身の楽譜出版社に彼を紹介し、翌年、出版社はブラームスのピアノ連弾曲《ハンガリー舞曲》のような作品をドヴォルジャークに書くよう依頼し、完成したのがピアノ連弾用の《スラヴ舞曲集》第1集Op.46でした。すぐに管弦楽曲版も作成され、これがヨーロッパで大ヒットします。これを受けて出版社側はドヴォルジャークに第2弾を促し、1886年(45歳)、《スラヴ舞曲集》第2集Op.72が完成します。当時、ヨーロッパではハンガリー、ボヘミア、モラヴィア、ウクライナなどの民俗音楽の色彩の作品がとて人気がありました。このOp.72の第2番(通し番号で10番)は、ウクライナの民謡のドゥムカの形式を取り入れ、ゆっくりとした哀歌の部分と、テンポの速い明るく楽しい部分の急激な交代を特徴とした3/8拍子の作品です。

ドヴォルジャーク：交響曲第9番 ホ短調 Op.95 《新世界より》

アメリカの大富豪のJ.サーバー夫人が、ニューヨークに設立したナショナル音楽院のために、多額の報酬によって大作曲家を院長として招聘しようとしていました。その白羽の矢が当たったドヴォルジャークは1892年(51歳)にこれを受け、音楽院院長として音楽教育に貢献します。休暇中に訪ねたボヘミア移民の入植地で望郷の念にかられ、また、ネイティブ・アメリカンの音楽や黒人霊歌から靈感を受けて作曲した《新世界より》は1893年5月に完成、同年の12月にカーネギーホールでニューヨーク・フィルによって初演されます。

第1楽章：Adagio-Allegro molto

ホ短調4/8拍子の序奏に続き、アレグロ2/4拍子でホルンが第1主題を高らかに歌います。第2主題はフルートとオーボエが悲哀に満ちた旋律で歌います。この旋律は黒人霊歌からヒントを得たものだとされています。

第2楽章：Largo

変二長調4/4拍子。イングリッシュ・ホルンが郷愁を誘う美しい旋律を吹きます。ドヴォルジャークの死後、『家路』『遠き山に日は落ちて』などの愛唱歌に編曲されるほど世界中の人に親しまれています。

第3楽章：SCHERZO Molto Vivace

ホ短調3/4拍子。トライアングルが登場し、とてもリズム的なスケルツォ楽章です。ロングフェローの詩『ハイアワサ』の中の「インディアンの踊りの儀式」から靈感を受けたと言われています。2つの異なる性格を持つトリオが印象的です。

第4楽章：Allegro con fuoco

ホ短調4/4拍子。ホルンとトランペットが勇躍して立ち上がるように第1主題を吹きます。全曲を通じて1度だけ鳴らすシンバルのあと、クラリネットが抒情的に吹く第2主題も大変美しいです。フィナーレには前の3つの楽章の主題が回帰し、壮大なクライマックスを築いていきます。



指揮：澤橋 淳
Conductor: Jun Sawahashi

東京学芸大学大学院修士課程(音楽学)修了。これまで指揮を崎田俊治、村方千之、湯浅勇治、ハンス・グラーフ、アンドレイ・アニャーノフの各氏に師事。2009年セント・ペテルブルク国立アカデミー交響楽団を指揮。2007年に七澤清貴氏とともにセブン・ブリッジ・オーケストラを結成し、新宿パークタワーでの公演は今回で16回目を迎える。



コンサートマスター：七澤 清貴
Concertmaster: Kiyotaka Nanasawa

東京藝術大学付属音楽高校、同藝術大学、パリ・エコールノルマルを全て首席で卒業。多久興、海野義雄、ブロードス・アール、ルイ・グレーラー、マックス・ロスタル、フォンタナローザの各氏に師事。スイスにてロスタルコンクール第1位。スイス ビエール市立交響楽団で3年間コンサートマスターを務め、帰国後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団で20年間コンサートマスターを務める。ソロ、室内楽でも全国的に活躍。アンサンブル・ソノール代表。



セブン・ブリッジ・オーケストラ Seven Bridges Orchestra

クラシック音楽をより多くの方に伝えるために2007年に結成。東京オペラシティや新宿パークタワーのアトリウムコンサートに出演。国内外で活躍する若き少数精鋭メンバーでクオリティの高い音楽を目指す。

※1970年代、淀橋浄水場跡地に7棟の超高層ビルが建設されたことで発展してきた西新宿は、その後も次々とビルが建設され、現在は日本を代表する超高層ビルの街となりました。このオーケストラ名の由来は、西新宿のさらなる活性化のために、ビルのアトリウムを中心にオーケストラが巡回演奏することで、人の交流の橋渡しをしたいという思いから「セブン・ブリッジ」と名付けられました。

<会場>

新宿パークタワー 1F アトリウム

□ お問い合わせ：新宿パークタワー総合案内

TEL: 03-5322-6640 www.shinjukuparktower.com/
東京都新宿区西新宿3-7-1

□ 交通アクセス

JR新宿駅南口から徒歩約12分
西口エルタワー前より約10分間隔で無料バス運行

